



Noto PLUS

2

世界に一つだけの卒業証書作り

久田和紙の卒業証書作りに、今年度から小木中学校3年生が参加。コウゾの伐採から工程を体験した生徒たちは1月24・25日、小間生公民館で紙すきに挑戦しました。



For all the local people NOTO FIELD NOTE

illustrated by a.yamazaki

協力：中 正道さん 他

Page 2

DATE: 2012.12.5
RESUME: 能登町柳田

田の神様は夫婦とされるが、ひとりやろ人の場合もある。御膳もそれに合わせる。左側は御膳の例

朱塗りか黒塗りの御膳 合展椀に甘酒

おはぎ つぶあんときなこ。

はちめ(メバル) 旬魚の定番。赤でも黒でもよい。生魚の刺身共す。

山の幸・里の幸(身の回り)で収穫
銀杏 白米(1升2合盛り)

小豆 粟 黒豆 供物の種数は 奇数。

二股大根は子孫繁栄と生殖の象徴。二股は女性、一本は男性を示し夫婦和合を表す。

稲作由縁の禁忌として、「焼く」は田が焼けるので×。「蒸す」も湿気による病害虫に通じ縁起が悪い。

その時期に身の回りにある物や手に入れられるもので神様をもてなすのが基本。

直会としてごちそうのお下がりや家族で食べられる素朴な喜びがあえのこを続ける強い動機だった。

この神事に「正式」や「略式」はなく多様。代々各家族に伝わる刈方が全て正しい!

汁物 細豆汁 粘り強く働くから。

栗の木の箸 36cm 枝から削り出し 1尺2寸の長さにする。12ヶ月を表し、鎌の柄と同じ長さ。

平鍬 農作業に 変わる道具 置き、畝間に 踏(ふみ)を敷く。

神座 田の神様 依代はヒサカキ。さんだら(俵のふた)に座す。座布団も可。

刺身 ブリは縁起のいい出世魚。迎えるあえのこの12月5日は旬の始まり。2月9日の送りのあえのこは、タラの子付けとタラ汁を供す。

酢の物 大根がすり 平椀盛り 煮しめは 5品か7品の 具材をそろえる。ただし焼物や 煮し物は入れない。

白飯のてん盛り 白米を腹いっぱい 食べられるのは 直会の 楽しみ。小豆飯もよい。

「あえのこ御膳」

「あえのこ」をする人も減り、大勢の田の神様がホームレスになっています。お宅でも昔のやり方を思い出して、家に神様をお迎えしてみませんか？これは能登の農家しか受け継げない家族の神事なのですから。

【絵・文】 山崎昭宏 <http://blog.livedoor.jp/yurariburari/>
※無断転載を禁じます。





神野公民館

あえのこと儀式的
実演

迎えと送りのあえのこと実演のほか、甘酒作り教室も開催。保存会発足に向けて取り組む。



高倉公民館

高倉地区
作品展

第34回目を数える作品展。地区の園児や小学生の作品を含む百数十点の作品を展示した。



宇出津公民館

婦人学級段ボール
コンポストづくり

地区婦人会と協力し、段ボールコンポスト作り教室を開催し、生ゴミの削減を行った。

町内 15 の 公民館が 取り組んだ 特色ある事業

各地域の公民館が地域の特色を生かした事業に取り組みました。
※網掛けの公民館は、次ページ以降に紹介。



松波公民館

そば打ち
体験

地域内で栽培している「そばの実」を利用し、親子や住民対象のそば打ち体験を2回行った。



瑞穂公民館

男の料理教室から
地域の名物づくり

男性が料理を勉強する料理教室を開催予定。現在男性が考案した地域の名物を開発中。



鵜川公民館

親子でミニにわか作り・
うかわ今昔暦

1/10サイズのにわかを親子で製作。町並みの変化や地域の歴史をカレンダーにまとめた。



三波公民館

三波で
磯釣り

竹竿づくり教室を開催したほか、講師を交えて春、夏、秋に磯釣り大会を開催した。



小木公民館

「小木よもやま話」
刊行

小木地区の歴史や情景などが分かるよもやま話を制作。子どもたちとカルタ作りを行った。



白丸公民館

白丸曳山歌
「きやらげ」伝承

白丸曳山歌「きやらげ」教室を開催。現在は全42曲入りの伝承CDを制作中。



不動寺公民館

木郎りづくり
地域再発見

水車小屋茅葺きの葺き替え研修、ウォーキング大会、音楽会、地域再発見講演会を開催。



秋吉公民館

紙飛行機大会の充実・
アマメハギ交流伝承

全町民対象の紙飛行機大会の開催。アマメハギで使用する蓑作り教室を開催。



岩井戸公民館

岩井戸地区今昔物語
写真集刊行

昔と現在の家並みや歴史が伝わる写真集を製作中。完成後は上映会を開催予定。



小間生公民館

久田和紙の
伝統文化継承

柳田・小木中学校の生徒と地域が協力し、休耕地にコウゾの移植・植栽活動を行った。



上町公民館

クリスマスツリー点灯
式・昔話伝承ほか

クリスマス飾り作り教室を開催し、点灯式を行う。寺分地区の宝暦杉の歴史を演劇化。



柳田公民館

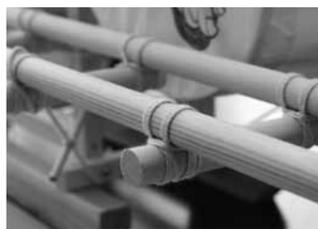
灯りの祭典
in やなぎだ

地域から廃食用油を集めてエコキャンドルを制作し、灯りの祭典を開催した。



公民館の底力

地域の学びの場である「公民館」。町内15公民館下には、それぞれ特徴的な「文化」「神事」「行事」などがある。これら地域の特徴を地域づくりに生かすために、町が平成24年度から実施する「公民館特色ある活動事業」。その取り組みを通して、改めて公民館の意義や役割を考えてみたい。



【左】 鶴川公民館が制作した「ミニにわか」とカレンダー。ミニにわかには本物の10分の1の大きさ。
【上】 担ぎ棒の縛りなども本物と同じ結び方をするこだわり。親子での制作には3カ月かかった。
【下】 カレンダーには1959年8月の鶴川大水や古いイドリ祭りの写真なども掲載。A1判で500枚印刷。

鶴川公民館

Ukawa Community Learning Center

【所在地】 字鶴川 18-128
【世帯数】 495
【公民館長】 梅田真人
【電話】 67-1919



「ミニにわか作りには親子11組が参加。約3カ月かけて完成させ、にわか祭本番前の8月19日には、『ミニにわか祭』を行って町内を練り歩いた。『できるだけ本物に近い作りを教えることで、若い親たちににわか作りを知ってもらおうようにしました。子どもたちには、祭りの言い伝えなどを教えるながら一緒に町を練り歩きました』

鶴川の歴史を暦にしたカレンダーは、公民館歴史教室のメンバーが文献を調べたり、寺への聞き取り調査などを行った。掲載する項目は、議論を重ねて120項目に絞り込んだ。



梅田真人 館長

「公民館の役割は、地域を元気にすることと文化の伝承。そのための発信場所であること。タウン誌の制作や昔遊びの復活など、やりたいことはまだまだあります」と意気込む。

地域を見つめ直す鶴川公民館の活動が、郷土愛を育んでいく。

「自分が住んでいる地域、育った地域に誇りと愛情を持ってもらいたい」と話す梅田真人館長。「自分が子どものころは、自作したミニにわかを引っ張りながら町内を練り歩いていました」と振り返る。

「ミニにわか作りには親子11組が参加。約3カ月かけて完成させ、にわか祭本番前の8月19日には、『ミニにわか祭』を行って町内を練り歩いた。

鶴川公民館は今年度、特色ある事業の予算を使って『ミニにわか』作りと鶴川地区の歴史を記したカレンダー制作に取り組んだ。

町内で最も古い歴史を持つ鶴川公民館。地域の歴史をひもとくとき、先人に学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土愛を育んでいる。

「暦には、今は行っていない行事や祭礼のほか、久田船長や原勤堂など郷土の偉人の生没日、鶴川郵便局の開局日など、鶴川にとって大切な歴史が掲載されています。知らなかった地域の歴史を知ること、ふるさとを再発見するきっかけにしてほしい」

地区約500世帯に配布されたカレンダー。地域住民には好評だという。

秋吉公民館

Akiyoshi Community Learning Center

【所在地】 字秋吉 7-57
【世帯数】 148
【公民館長】 竹中省三
【電話】 72-0006



【右】 18人が5つのグループに分かれ蓑を作った。制作期間は6日。この日は千葉県から堂下さんの技を学びに訪れた人も。
【上】 1月16日夕方はNHK金沢放送局の生中継。子どもたちもアマメハギに扮して出演。
【下】 アマメハギで使われる道具。今年は新調された蓑で行われる。



アマメハギの里にある秋吉公民館。子どもたちが主役の文化は少子化の影響を強く受ける。地域と公民館が協働で保存・継承の第一歩を踏み出した。

「秋吉公民館の自慢は、地域の皆さんが公民館活動にとっても協力的なことですよ」と語る竹中省三館長。

今年度、特色ある事業で取りかかった蓑作りでも「原料となるわらの提供やねいご（稲の穂が付いていた部分）抜き協力と呼びかけたところ、予想以上の協力が得られて本当に感謝しています」と目を細める。

毎年2月3日、鬼の面を付けた子どもたちが蓑をまとって家々を回るアマメハギは、秋吉公民館地区だけに伝わる伝統行事で国指定重要無形民俗文化財。しかし、蓑の文化が今も残るこの地域でも、編み方を知る人は途絶え、現存する蓑は年々傷みが激しくなってきたという。

「指導してくれる人がいるうちに、蓑作りを伝承しようと、アマメハギ保存会と話し合いました」

竹中さんは町内で数少ない蓑編み技術を持つ堂下久子さん（78）に指導を依頼。住民18人が集まって協力しながら5着の蓑を新調した。



竹中省三 館長

秋吉公民館は今年度、地域との「協働」を掲げて活動している。蓑作りも保存会との協働で取り組んだ。

「公民館だけでできないことは、地域の皆さんと一緒にやります。公民館活動には住民の理解と協力が不可欠です。活動を通して意識をいかに変えていくか。その過程を大切に、これからも活動を積み重ねていきたい」

長い年月で培われた住民と公民館の協力関係が、地域に活力を生む。

「やってみると非常に難しかったですが、参加者は熱心に協力的に取り組んでくれました。活動しながら、地域の文化を伝承していきたいという思いもさらに強くなりました」

小間生公民館

Omou Community Learning Center

江戸時代から伝わり、大正初期に廃れた「久田和紙」。小間生公民館は、復活した伝統文化を「地域の宝」として保存継承に取り組んでいる。



【所在地】字小間生ル-23
【世帯数】195
【公民館長】谷内静雄
【電話】76-0275



【右】協力してコウゾの苗を植える柳田中と小木中の生徒。原料として使えるまでには、最低3年かかる。
【上】繊維を柔らかくするために棒でたたく。約2時間、ひたすらたたく重労働も中学生が体験した。
【下】和紙で作られたメルヘンドール。みわ会が制作するさまざまな作品は、年々人気が高まっている。

「久田和紙を守り、育てていくためには原料であるコウゾの確保が欠かせません」

小間生公民館長であり、久田和紙の製法を受け継ぐ『みわ会』の会長でもある谷内静雄さんは、特色ある事業でコウゾの移植・植栽を提案。6月8日に久田地区の休耕地200畝にコウゾの苗50本の植栽と、山に自生していた若木50本の移植に取り組んだ。

作業には、今年度から里山里海交流を実施し、卒業証書用の和紙づくりを体験する柳田中学校と小木中学校の3年生が協力。みわ会メンバーや地元造園業者らと一緒に汗を流した。

「移植・植栽したコウゾはおおむね順調に育っています。安定した原料確保のためにも300本を目標にした



谷内静雄 館長

い」と語る谷内さん。「荒廃地を活用することで、久田地区をコウゾの一大産地にしたい」と意気込んでいる。昭和63年に旧小間生小学校の体験学習として復活した久田和紙。小学校の閉校を控えた平成13年9月にみわ会が設立され、その技術を受け継いだ。「久田和紙という眠っていた地域の伝統文化が発掘され、復活し、受け継がれました。地域に根差した活動に光を当てるのは、公民館しかできません。みわ会を公民館活動の中核に据えて育成していくことで、久田和紙の保存継承をしていきます」

高齢化や後継者不足など、抱える課題は決して少なくない。

「継承していくためには、地域の皆さんの理解と協力が欠かせません。そのためにも公民館の規約を作るなど体制づくりも必要と考えています」

久田和紙という原石。地域を巻き込む公民館活動が原石を磨き、輝かせる。

【寄稿】

公民館の底力と元気な地域づくり

金沢大学地域連携推進センター教授 浅野秀重さん

地域における公民館は、地域の方々が「集い合い、学び合い、高め合い、結び合う」ことのできる場であり、「昨日と違う今日の自分、今日と違う明日の自分づくり」の場でもあります。

さあ、公民館へ行って、新しい自分づくり、自分育てをしてみませんか！

「こうみんかん」は、地域住民に対し学びの機会を提供する「公民の館（やかた）」であるとともに、行政や地域の各種団体・機関と地域住民との「間（あいだ）」に位置し、必要に応じて地域住民と行政とを結ぶ公民「間」、地域住民にひとや体験・自然等との出会いの場を提供しその「感性」を豊かにする公民「感」、社会のしくみや地域課題などについての学びをとおして人

生観や職業観などものの見方や考え方に影響を与える可能性を持つ公民「観」、地域住民に地域で生き、暮らし、働き、支え合いそして学び合う歓びを提供する公民「歓」、地域住民を強い絆で結び強固な環を形成することに寄与する公民「環」、さらには魅力的で活力ある地域づくりの中核的な幹（み

き）となる場、あるいは地域づくりの担い手、リーダー（幹）を育てる公民「幹」というような役割を負っています。これらを、筆者は、公民館の「底力」と言っています。

町民憲章と能登町の公民館

町民憲章によると、能登町は、「土と水を愛し、安らぎのあるまち」「健康で、心のふれあいを大切にすまち」「働くことに感謝し、創意と工夫で活力あるまち」「歴史に学び、スポーツと文化を育むまち」「能登町に誇りを持ち、世界と未来にひらけるまち」をめざしています。

こうしたまちをつくるためには、能登町に住まう地域の皆さんが、能登町の魅力や課題をしっかりと確認することが大切で、そのためには「学びの活動を通じて地域を知ること」です。

地域についての「学び」なくして、地域の良（善）いもの、直さなければならぬもの、残さなければならぬもの、必要なものなどは何なのかを判断することはできないと思います。そうした学びの機会や考える機会を提供する場が公民館であり、公民館活動を通じて、地域の方々が、強い絆を結び、つながり合うことが求められています。

世界農業遺産の認定と公民館活動

町民の皆さんご承知のとおり、2011（平成23）年6月、伝統的な農業や文化風習・生物多様性の保全を目的とした「世界農業遺産」に、「能登の里山里海」が認定されました。

能登は、長い農耕の歴史を持つ地域であり、あえのこと、アマメハギ、農村の原風景など能登独特の営みや景観が継承されています。地域に古くから伝わる農業や伝統的・文化的資源を活用しながら、次世代へ継承すべき重要な農法や生物の多様性等を有する地域として国連の機関から認定されたことを契機に、今一度、自らが暮らし、生活する「能登」を学び、地域の世界的な価値を再認識し、地域住民の一人ひとりが自覚的に、時には地域一体となって、その保全・継承に取り組んで



【PROFILE】あさの・ひでしげ
昭和29年千葉県生まれ。石川県立小松女子専門学校、石川県県民生活局、石川県教育委員会事務局等の勤務を経て、平成10年から金沢大学教員。石川県社会教育委員、日本公民館学会理事など。

地域の活力、魅力ある地域は、決して人口、生産額、観光客、ハコものの数などで評価されるのではなく、その地域の住民の意識によるものではないでしょうか。そうした意識形成に、学習活動は不可欠であり、その活動拠点が、公民館です。

いくことが期待されています。能登町は、新たに予算措置して「特色ある公民館活動」を奨励し、その様子が、このたびの広報で紹介されています。

予算措置も広報の特集についても敬意を表するのですが、それぞれの地区の特徴や特色を生かした公民館活動は、世界農業遺産を生かしたまちづくりにかわらうとする自覚的な住民育てにつながるとともに、地域の様々なグループの多様な活動の展開により、遺産や地域文化を保護・継承するための輪が相乗的に拡がることになると思います。

所得税、町・県民税

申告はお早めに

平成24年分所得税、平成25年度町・県民税（国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料）の申告受付は2月18日(月)から3月15日(金)までです。期限内の申告をお願いします。

国税務課 ☎ 62-8505



スムーズな申告のために

能登町では、町・県民税の申告会場で『確定申告支援システム』を活用しています。

このシステムにより、皆さんが申告に必要なもの（下記参照）を持参するだけで申告書記入の手間を省き、スムーズに申告できるように対応しています。

各世帯への申告書配布については、平成25年1月1日現在で、能登町に住民登録をしている人の世帯につき1枚配布します。申告書が必要な人は、役場や公民館に予備がありますので、お受け取りください。町ホームページからもダウンロードできます。

◎申告会場と日程

【受付時間】9:00～16:00

【能都庁舎2階ロビー】

2月18日(月)～3月15日(金)(土・日曜を除く)
(期間前申告) 2月13日(水)～15日(金)
(休日申告) 3月3日(日)、9日(土)、10日(日)

【小木支所】 2月18日(月)～22日(金)

【高倉出張所】 2月25日(月)～26日(火)

【鶴川支所】 2月27日(水)～3月1日(金)

【柳田庁舎情報センター1階研修室】

3月5日(火)～15日(金)

【内浦庁舎3階第1会議室】

3月5日(火)～15日(金)

◆ご注意・お願い

○瑞穂・神野・白丸・不動寺公民館での出張申告はありません。

○前年所得がなかった人の住民税申告書は、税務課（内浦・柳田サービス室、各支所、出張所）の窓口でも提出できます。

○所得税の確定申告には、源泉徴収票（原本）の添付が必要です。

○領収書などは整理のうえ、事前の計算をお願いします。

○青色申告の人は、税務署で申告してください。（町申告会場では受け付けできません）

✔ 申告に必要なもの

- 印かん（必ずご持参ください）
- 平成24年中の収入の分かる書類（給与・報酬・賃金・年金のある人は源泉徴収票。なくした人は再発行してもらいましょう）
- 生命保険料・地震保険料控除などを受ける人は控除証明書
- 国民年金保険料などを申告する人は納付額の証明書または領収書
- 障害者控除を受ける人は障害者手帳・療養手帳など確認できるもの
- 医療費控除を受ける人は医療費の領収書、補てんされる金額の明細書（ご自分で領収書・レシートの集計をしておいてください）
- 寄附金控除を受ける人は、寄附先、寄附額を証明するもの
- 住宅借入金等特別控除を受ける人はその必要書類
- 農業所得の申告をするときは、収支内訳書を記入のうえ、収入と支出の分かるもの
- 所得税の還付を受ける人は本人名義の金融機関名、口座番号がわかるもの

■町民税・県民税の申告

賦課期日（平成25年1月1日）に町内に住み、以下の項目に該当する人は申告が必要です。

- 平成24年中に所得があった人
- 国民健康保険に加入している人
- 後期高齢者医療保険に加入している人およびその家族
- 介護保険に加入している人およびその家族
- 給与所得者で、下記の①、②、③のいずれかに該当する人

①勤務先から町役場に給与支払報告書が提出されていない
②給与以外の所得がある（給与以外の所得の合計が20万円を超える場合は確定申告が必要）

③昨年中に勤務先を退職した（給与所得だけで勤務先から町役場へ給与支払報告書が提出されている場合必要ありません）

- 障害年金や遺族年金、雇用保険などの非課税収入のみの人
- 平成24年中に町内居住者に扶養されていた人で所得（非課税）証明書が必要な方
- 所得が公的年金だけで、「公的年金の源泉徴収票」に記載のない所得控除を受けたい人

※税務署に確定申告をする人は申告の必要がありません。

■収入がなくても申告

所得税は収入（所得）がないと申告の必要がありませんが、町民税・県民税の申告は国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の算定などの資料にもなるため、収入がなくても申告してください（税務署に確定申告をする方を除く）。申告していないと、「収入がない」ことが把握できず、各種行政サービスを適切に受けられない場合があります。

申告書には「前年所得のなかった方が記入する欄」がありますので、その旨を記載するだけで申告できます。これにより、さまざまな手続きに必要な非課税証明書をとることができます。

- 申告が必要となる主なもの
- 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の賦課決定
- 高額医療費や高額介護サービス費の自己負担限度額の決定と各種医療証の区分判定
- 国民年金保険料免除申請 公的年金の請求 保育料の決定
- 児童手当や就学奨励金などの申請
- 公営住宅入居資格審査などの資料

◆郵送での申告

ご自分で町・県民税申告書を作成できる人は、郵送による申告が便利です。申告会場に持参することなく、ポストに投函するだけで申告ができます。郵送する場合は、記載漏れや関係書類の添付漏れがないかよく確認してください。町・県民税申告書が置いてある町内各公民館に専用箱を設置しますので、そちらもご利用ください。

※後日、申告内容などをお尋ねする場合がありますので、連絡先電話番号は必ず記入してください。

申告書控用が必要な場合は、80円切手を貼った返信用封筒（定形）を同封してください。

【宛先】 〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1-197-1 能登町役場税務課行 ※郵便番号を記載すれば住所を省略できます。

～輪島税務署からのお知らせ～

■北陸税理士会輪島支部・無料税務相談

北陸税理士会輪島支部による「無料税務相談」を行いますので、お気軽にご利用ください。

〈期日〉2月23日(土)（税理士記念日）

〈時間・場所〉

9:00～12:00 ワイプラザ輪島店

13:00～16:00

ショッピングプラザシーサイド(珠洲市)

■事前申告相談会・出張申告相談会

・事前申告相談会（年金受給者対象）

〈日時〉2月7日(木)

9:30～12:00、13:00～16:00

〈場所〉能都庁舎4階ホール

・出張申告相談会

営業等所得、不動産所得、配当所得、土地建物・株式等の譲渡所得等がある人は、できるだけこの2日間にお越しください。

会場では、パソコンを利用してe-Taxによる申告ができます。この機会にe-Taxを経験していただき、e-Taxの利便さを実感してください。

〈日時〉2月19日(火)、20日(水)

9:30～12:00、13:00～16:00

〈場所〉能都庁舎4階ホール

☎ 輪島税務署 ☎ 0768-22-2242

生命保険料控除が改正されました

これまでの「一般生命保険料控除」「個人年金保険料控除」に加えて「介護医療保険料控除」が新設されます。

新制度は平成24年1月1日以後に締結した保険契約より適用されます。

■各控除区分の適用限度額

控除区分	旧制度		新制度	
	住民税	所得税	住民税	所得税
一般	35,000円	50,000円	28,000円	40,000円
介護	—	—	28,000円	40,000円
個人	35,000円	50,000円	28,000円	40,000円
全体の限度額	70,000円	100,000円	70,000円	120,000円

※詳しくは税務課（☎ 62-8505）までお問い合わせください。

町職員の 給与等の あらまし

「能登町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与や職員数などの状況を公表します。

町職員の給与は、民間企業の給与や国、他の地方公共団体の給与との均衡を考慮し、人事院および石川県人事委員会の給与勧告を参考に、町長が給与条例等の改正を町議会に提案し、その議決を経て定めています。

行政の透明性を確保し、町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、職員に支給している給与等のあらましをお知らせします。

1. 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (23年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 B/A	22年度の 人件費率
23年度	20,405人	16,701,284千円	179,618千円	2,422,689千円	14.5%	15.6%

2. 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費（職員手当には退職手当を含まない）				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
23年度	268人	920,436千円	74,597千円	326,123千円	1,321,156千円	4,930千円

3. 職員の初任給の状況（24年4月1日現在）

区分		初任給月額		
		能登町	石川県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円	—	—

4. 職員の平均給料月額および平均給与月額の状況（24年4月1日現在）

区分	能登町			国（上段：減額前、下段：減額後）		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43.8歳	308,163円	333,858円	42.8歳	329,917円 304,944円	401,789円 372,906円
技能労務職	49.9歳	253,741円	265,850円	49.7歳	285,030円 270,465円	323,181円 307,506円

5. 一般行政職の級別職員数の状況（24年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
職名	主事 技師	主事 技師	主幹 係長 主査	課長補佐 主幹	課長 課参事	課長
職員数	14人	25人	90人	27人	19人	15人
構成比	7.4%	13.2%	47.4%	14.2%	10.0%	7.9%

（注）能登町職員の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数

6. 職員手当の状況

6-①期末・勤勉手当（24年度）

支給率	区分	能登町	国
	期末手当	2.60月分	2.60月分
	勤勉手当	1.35月分	1.35月分
	計	3.95月分	3.95月分
加算措置		職制上の段階、職務の級などによる	

6-②退職手当（23年度）

支給率	区分	自己都合	勤奨定年
	勤続20年	23.50月分	30.55月分
	勤続25年	33.50月分	41.34月分
	勤続35年	47.50月分	59.28月分
	最高限度	59.28月分	59.28月分
平均支給額		19,738千円	
加算措置		定年前早期退職の場合2～20%加算	

6-③扶養・通勤手当 国の基準と同じ

6-④時間外勤務手当（普通会計）

23年度	支給総額	9,567千円
	職員1人当たり支給年額	36千円

6-⑤特殊勤務手当（23年度・普通会計）

区分	全職種
職員全体に占める手当支給職員の割合	27.2%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	67千円
手当の種類（手当数）	7種類

7. 特別職の報酬等の状況（24年度）

区分	月額	期末手当
給料	町長 820,000円	6月期 1.40月
	副町長 540,000円 (590,000円)	12月期 1.55月 計 2.95月
報酬	議長 275,000円	6月期 1.40月
	副議長 245,000円 議員 225,000円	12月期 1.55月 計 2.95月

（注）町長および副町長の（ ）内は減額措置を行う前の金額

8. 給与水準（ラスパイレス指数※）

区分	22年度	23年度
能登町	89.7	90.5
県内町	89.0	89.4
全国町村	95.1	95.3

※国を100としたもの

9. 部門別職員数の状況（4月1日現在）

区分		職員数		前年比
		23年度	24年度	
一般行政	議会	4	4	0
	総務	77	76	△1
	税務	16	14	△2
	労働	2	2	0
	農林水産	16	15	△1
	商工	8	7	△1
	土木	14	13	△1
	民生	67	65	△2
	衛生	31	30	△1
	小計	235	226	△9
特別行政	教育	33	30	△3
公営企業等会計	病院	138	138	0
	水道	14	13	△1
	下水道	6	6	0
	その他	18	17	△1
	小計	176	174	△2
合計		444	430	△14

10. 定員適正化計画

①適正な定員管理

徹底したスクラップ・アンド・ビルドにより、総数の増加を極力抑制するなかで、政策の変化や業務量の変化に応じた職員の適正配置に努めています。

②採用・退職の状況

区分	21年度 (人)	22年度 (人)	23年度 (人)	24年度 (人)	
前年度退職者等	行政職等	29	31	25	34
	医療職	12	10	5	8
新規採用等	行政職等	6	9	16	18
	医療職	8	5	9	10
年度当初職員数	476	449	444	430	
前年比	△27	△27	△5	△14	

3月の展示会へ向けNPOが搬出 のとキリシマツツジが新潟県へ

NPO法人「のとキリシマツツジの郷」は12月19日、新潟県立植物園での展示に向け、樹齢30～150年ののとキリシマツツジ27点を搬出しました。

同植物園が3月6日から10日に開催する「花の新品種 in にいがた」で、のとキリシマツツジを中心に約20種類の園芸植物の新品種を展示。最終日の10日はシンポジウムが開かれ、NPO会員や倉重祐二副園長が、能登でのツツジの保護や普及について紹介します。



能登固有種「紅重（べにがさね）」などの盆栽を積み込むメンバー

協働コーディネーター養成講座・中級編 まちづくりの人材育成を目指す

官民協働のまちづくりの中心となる人材を育成する「協働コーディネーター養成講座・中級編」は12月21日、役場能都庁舎で開かれ、町内の地域づくり団体や公民館主事、町職員など25人が受講しました。

今回は新潟のNPO法人まちづくり学校代表理事の長谷川美香さんと大滝聡さんが講師。活動事例を紹介しながら「協働コーディネーターには、構想力に加え調整力が必要」と呼びかけました。



ゲーム形式の活動で意見交換する参加者

漁港で扇祓を行い、大漁を祈願する子どもたち



波並地区扇祓い 地区の繁栄を祈る伝統の扇祓い

無病息災や文字の上達などを願う火祭り「左義長」。波並地区では左義長の前に「扇祓い」と呼ばれる行事が行われます。白い扇3枚を組み合わせたものを竹に付け、子どもたちが縁起の良い口上を歌いながら町内を練り歩きました。

正月飾りなどが山積みされた港に到着すると、竹を中央に立てて火が付けられます。今年の竹は海側に倒れ、「大漁になる」と喜びの声が上がっていました。

たいまつをバックに力強く太鼓を打ち鳴らした保存会員



弥栄太鼓初打ち奉納 諸願達成を祈りながら初打ち

毎年1月7日の午前0時に行われる弥栄太鼓の初打ち奉納。今年も宇出津八坂神社には約100人が初詣や見物に訪れていました。

昭和47年の結成から40年以上活動を続ける弥栄太鼓保存会。本谷順一会長が「皆さまの今年一年のいやさを祈念して初打ちを奉納します」とあいさつした後、20人の会員が境内に作られた特設舞台上で気迫のこもったバチさばきを披露しました。

のと寒ぶりまつり 冬の味覚の王者「寒ぶり」を満喫



寒ぶりを求めて長蛇の列ができた

「のと寒ぶりまつり」が1月20日、宇出津港いやさか広場で開催され、県内外から約3,500人が来場しました。

広場中央のメーンテントでは、宇出津港で水揚げされた寒ぶり400本が並び、来場者が次々に買い求めていました。

会場では町内の飲食店など24の屋台もにぎわいを見せていました。来場者はぶりしゃぶやぶり大根などぶり料理のほか、海鮮丼や新酒など、能登町の冬の味覚を堪能しました。



ぶりしゃぶに舌鼓を打つ

まちの出来事

能登高校食育講座 地元食材を使って郷土料理学ぶ

能登高校食育講座が1月10日に開催され、地域創造科3年生が町食生活改善推進協議会ヘルスマイトの皆さんから郷土に伝わる調理法などを学びました。

この日の献立はいしりご飯、フクラギの照り焼き、大根の酢の物、海藻のみそ汁、べこもちの5品。元平すえ子会長は「地元の食材、季節の食材を使った郷土料理を覚え、独り立ちしてもバランスの取れた食事を取るようにしてほしい」と話していました。



ヘルスマイトに教わりながら、べこもちの形を作る生徒ら

とも旗祭りの由来などを話す中山館長



小木中学校・とも旗講話会 ふるさとの祭りのルーツを知る

ふるさと学習の一環として、毎年とも旗祭りの旗を制作する小木中学校。制作に先立ち、とも旗祭りの由来などを学ぶ「とも旗講話会」が1月10日に開かれ、2年生がふるさとの祭りのルーツを学びました。

小木公民館の中山茂喜館長のほか地域の皆さんも駆けつけた講話会。中山館長は「とも旗祭りは日本のどこにもない誇れる祭り」と語り、祭りが始まった歴史や子どもだけで作っていた昔話などを伝えました。

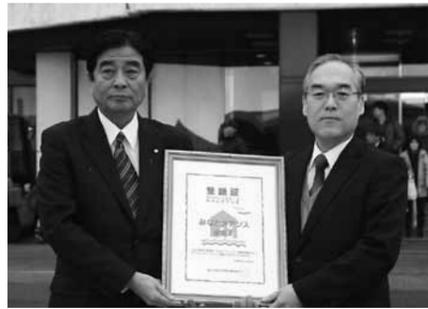
ニュース **みなとオアシス宇出津**

宇出津港一帯が「みなとオアシス」に

宇出津港一帯が、北陸地方整備局の「みなとオアシス宇出津」に認定され、登録証交付式が1月20日、宇出津港いやさか広場で行われました。

みなとオアシスは、港湾施設を中心とした交流拠点づくりと知名度向上を支援する国土交通省の制度。認定により、国交省のホームページなどで施設のイベントをPRできるほか、全国共通のシンボルマークが使用可能となります。

全国で68番目、県内では七尾港、輪島港に次いで3番目となる認定を受け、持木町長は「これを契機に宇出津地区がさらに活気づくよう盛り上げていきたい」とあいさつしました。



北陸地方整備局の東山茂次長から登録証を受け取る持木町長

募集 **能登町空き家情報**

あなたの空き家登録しませんか？

空き家があるけれど「当分住む予定が無いので貸したい」、「売りたい」と思っている所有者の皆さん、空き家登録をしませんか。

能登町では町内の空き家をより良く活用するために「能登町空き家情報」事業を行っています。

「能登町空き家情報」では、貸したい・売りたいと考える空き家の所有者が空き家を町に登録申請してもらいます。その後、町が委託している「のと宅地建物取引業組合」が登録可能かを調査し、登録可能ならばホームページ（<http://notolife.com/>）に掲載します。

「家が古いから」「空き家内に荷物があるから」と考えている人も、お気軽にお問い合わせください。

〈問い合わせ〉

- ・空き家情報登録の運用について
ふるさと振興課 ☎ 62-8532
- ・空き家・ホームページについて
のと宅地建物取引業組合 ☎ 62-2022

ニュース **人権擁護委員**

人権擁護委員に委嘱状を交付

人権擁護委員委嘱状交付式が1月21日、能都庁舎で行われ、持木町長が法務大臣からの委嘱状を交付しました。

今回委嘱を受けたのは、堂前弘子さん（70）＝笹川＝と本谷憲市さん（65）＝真脇＝の二人。堂前さんは6期目、本谷さんは2期目の委嘱です。持木町長は「これまでの経験を生かして、今後も人権の啓発にご尽力いただきたい」とあいさつしました。委嘱期間は平成25年1月1日から平成27年12月31日までの3年間です。



委嘱状を受ける本谷さん（左）と堂前さん

募集 **町営住宅**

町営住宅の入居者を募集します

〈募集期間〉平成25年2月15日(金)まで

〈対象住宅〉

たなぎ団地（3LDK）1戸

住所所在地 能登町宇出津イ字9番1地
家賃 月額53,000円

〈入居資格〉

- ①能登町に住所を有する人（予定者を含む）
- ②住宅に困窮していることが明らかでない人
- ③町税などの滞納がない人
- ④収入基準
入居世帯の所得月額が158,000円以上
- ⑤単身の人よりも複数世帯を優先します。



☎建設課 ☎ 76-8304

【能登町役場】 ☎ 62-1000(代)

能都庁舎（☎62-4506）

総務課 ☎ 62-8510

企画財政課 ☎ 62-8503

監理課 ☎ 62-8504

税務課 ☎ 62-8505

環境対策課 ☎ 62-8507

町民課 ☎ 62-8500

能都サービス室 ☎ 62-8500

ふるさと振興課 ☎ 62-8532

会計課 ☎ 62-8509

柳田庁舎（☎76-0039）

広報情報推進課 ☎ 76-8301

農林水産課 ☎ 76-8302

柳田サービス室 ☎ 76-8300

農業委員会 ☎ 76-8303

建設課 ☎ 76-8304

内浦庁舎（☎72-2108）

健康福祉課

（児童保育） ☎ 72-2512

（医療介護） ☎ 72-2502

（福祉庶務） ☎ 72-2503

（健康推進） ☎ 72-2504

（包括支援） ☎ 72-2513

内浦サービス室 ☎ 72-2500

上下水道課 ☎ 72-2507

教育委員会事務局 ☎ 72-2509

議会庁舎 議会事務局 ☎ 76-8310

ニュース **石川県広報コンクール**

県広報コンクールで8年連続最優秀

平成25年石川県広報コンクールの結果が1月23日に発表され、広報のとは広報紙（町の部）で8年連続の最優秀賞、組み写真部門でも最優秀賞を受賞しました。最優秀賞となった広報紙は「能登イズム」と題して世界農業遺産を特集した24年12月号。組み写真は同号22-23頁で、里山里海に関連する256枚の写真を配置しました。

最優秀作品は日本広報協会が主催する全国広報コンクールに県代表として推薦されます。

	石川県広報コンクール			全国広報コンクール		
	広報紙 (町)	一枚写真	組み写真	広報紙 (町村)	一枚 写真	組み 写真
H18年	最優秀賞	優秀賞	最優秀賞			
H19年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	佳作		4席
H20年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞			
H21年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞		入選	
H22年	最優秀賞		優秀賞	入選		
H23年	最優秀賞		最優秀賞	2席		
H24年	最優秀賞		優秀賞	入選		
H25年	最優秀賞		最優秀賞	5月に発表予定		

お知らせ **簡易耐震診断**

簡易耐震診断を受けてみませんか

能登町では、地震に強いまちづくりに向けて住宅の耐震診断や耐震補強工事の費用の一部を補助していますが、新しく簡易耐震診断もできるようになりました。必要書類と条件が揃っていれば無料で診断できます。

〈補助対象住宅〉

- ・町内に所有し、自ら居住している個人住宅
- ・昭和56年5月31日以前に建てられた木造2階建て以下の住宅

〈実施方法〉町へ簡易耐震診断の申し込みをした後、簡易耐震診断を建築士に行ってもらいます。

〈費用〉費用は無料です。図面がないなど、現地調査が必要な場合には自己負担金が必要となります。

☎建設課 ☎ 76-8304

選挙 **能登町長選挙**

平成25年3月24日能登町長選挙（予定）立候補予定者説明会を開催

〈投票日〉平成25年3月24日(日)

〈告示日〉平成25年3月19日(火)



■立候補予定者説明会

〈日時〉2月27日(水) 13:30～

〈場所〉能都庁舎4階大ホール

☎選挙管理委員会（総務課内） ☎ 62-8510

ニュース **エコギフト**

「エコギフト」事業で、鶴川小学校と柳田小学校がダブル受賞

自主的・積極的に環境保全活動に取り組む学校や地域を評価し、特に優れた活動を行っている学校などに対する「エコギフト」の贈呈式が12月25日、石川県庁19階の展望ロビーで開かれました。

能登町からは鶴川小学校が金賞、柳田小学校が奨励賞を受賞。優良事例報告では、鶴川小学校6年の江川友弥さん、鍋谷丞さん、東倉藍海さん、船下愛美梨さんの4人が、6年生で結成する環境保全の推進母体である「環境を守り隊」の活動について発表しました。



鶴川小・柳田小の代表児童

中十七波・乃波木 春風トークショー

『風の人 土の人』

～母娘で語る「協働のまちづくり」～

能登町ゆかりの写真家・中乃波木さんが、お母さんの中十七波さんと「協働のまちづくり」について語ります。

「協働」とは、同じ目的のために対等の立場で協力して働くこと。二人は平成4年に風の人（よそ者）として能登町へやってきました。現在まで二人がどのようにして土の人（土地の人）と協力しあい創作・仕事をしてきたのでしょうか。

町内に「陶房眠兎」を構える陶芸家の十七波さんと、能登を撮る写真家として写真だけでなくエッセイ、講演など幅広い活動をする娘の乃波木さん。共に能登町の魅力を発信し続ける二人の話には風の人と土の人による「協働のまちづくり」のヒントが詰まっているはず。

能登の人はもちろん、能登へ移住したいと考えている人にもぜひ参加してほしいトークショーです。

このイベントに合わせ、二人による食談義と乃波木さんの写真展も開催されます。

【日時】3月17日⑩ 11:00～12:30

【会場】能登町立美術館ロビー（遠島山公園内）

【定員】40人（入場無料）

【問い合わせ・申込先】ふるさと振興課 ☎ 0768-62-8532



中 十七波さん



中 乃波木さん

中乃波木 写真展

「Hop Step Jump Noto」

中学1年で能登に来た写真家・中乃波木さん。当時を言葉で再現したエッセー「大波小波」と母校・柳田中学校の写真で構成する、能登町初の中乃波木写真展。

〈期間〉3月15日⑨～31日⑩

9:00～17:00（入館16:30）月曜休館、入場無料

〈会場〉町立美術館第二展示室

大波小波親子と蟹食談

「風の人になりませんか」

二人の話をより詳しく聞きたい人、能登への移住を迷っている人へ。能登自慢の蟹料理を食べながらの楽しい食談です。

〈日時〉3月17日⑩ 13:00～

〈会場〉真脇ポーレポーレ

※詳しくはポーレポーレ（☎ 0768-62-4700）までお問い合わせください。

【入札結果】

12月16日～1月15日

広報紙では、契約金額500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎ 監理課 ☎ 62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
自主放送番組制作設備HD化工事	柳田外	広報情報推進課	49,245,000円	NEC ネットズエスアイ(株) 北陸支店
本木地区 配水管布設工事 (1工区)	本木	上下水道課	25,200,000円	山本鉄工所
本木地区 配水管布設工事 (2工区)			12,169,500円	(株) 蔦土木
移動通信用鉄塔施設整備事業 十郎原西谷局 施設基礎工事	十郎原	広報情報推進課	5,541,900円	(有) 山本組
局間伝送路工事			9,660,000円	シンワ通信工業(株) 能登支店
多目的広場 整備工事	藤波	教育委員会事務局	7,350,000円	札木建設
鮭尾地区 飲雑用水施設整備 実施設計業務	鮭尾	農林水産課	6,510,000円	(株) 俵設計
(松波処理区) 路面本復旧工事 その2	松波	上下水道課	8,610,000円	丸建道路(株)
本木送水ポンプ場 機械電気設備工事	本木		17,745,000円	(株) 柿本商会

ニュース インドネシア人漁業実習

3年間の研修・実習を終了し帰国

第9次インドネシア人漁業実習生の修了証授与式が1月16日、県漁協小木支所で行われ、イカ釣り船での研修と実習を終えた40人が修了証を受け取りました。田下副町長は「3年間で身につけた技術を本国で発揮していただきたい」と激励。実習生らは日本での思い出や感謝の言葉を述べました。



募集 消防団

消防団員を募集しています

「あなたです！このまちを守る 消防団」

（消防団入団促進統一標語）

能登町を自分たちの力で守りませんか。火災や風水害、震災などの災害時には、消防団員の力が不可欠です。能登町には現在16の分団があり、約300人の消防団員が能登町のため、昼夜を問わず活動しています。

入団を希望する人は、下記までご連絡ください。

☎ 能登消防署 ☎ 62-0492

内浦分署 ☎ 72-0282

柳田分署 ☎ 76-0085

○消防団員の身分

職業を持ちながら災害時などに活動する消防団員の身分は特別職（非常勤）の地方公務員。団長以外の団員は、町長の承認を得て消防団長が任命します。

団体で活動することが原則であり、現場での指揮命令系統をはっきりさせるために①団長②副団長③分団長④副分団長⑤部長⑥班長⑦団員—という全国的に統一された階級制度をとっています。

納期 税金 / 保険料

今月の納期限は2月28日(木)です。

〈税金〉固定資産（都市計画）税 第4期
国民健康保険税 第8期

〈保険料〉介護保険料 第8期
後期高齢者医療保険料 第11期

ニュース 「能登町寒ぶり焼」試食会

のと寒ぶりを和菓子でPR

町が今年度から実施する「産業育成・活性化支援事業」の採択を受けて、菓子メーカーの(株)いわづみが「能登町寒ぶり焼」を開発。1月15日に国民宿舎能登やなぎだ荘で試食会を行いました。

能登町寒ぶり焼は、ブリの形をした特注の型で、地元の米粉を使った生地を焼き上げます。中身は塩あずきとカスタード、抹茶の3種類。能登大納言小豆を使ったあんや能登海洋深層水の天然塩などが使われています。「甘すぎない」「塩の味わいがアクセントになっている」など好評で、岩住武広常務は「商品を通じて能登町の寒ぶりや豊かな食材をPRしたい」と意気込んでいました。

能登町寒ぶり焼は、1月20日の「のと寒ぶり祭り」の会場で販売。今後は町内のイベントのほか、金沢市の百貨店やスーパーなどで販売を予定しているということです。

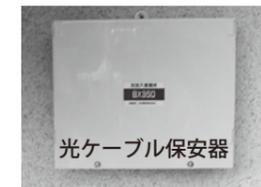


この日は塩あずき80個とカスタード20個を配布

お願い 有線テレビ

増改築などで有線テレビ施設を移設する場合は、必ず事前に連絡を

家屋の取り壊しや外壁のリフォーム、エアコン室外機の設置などで、保安器を取り外したり、ずらしたりする必要がある場合やケーブルの引込線が支障になる場合は、必ず事前に広報情報推進課に連絡してください。



☎ 広報情報推進課

☎ 76-8301

EnjoyNoto 遊々能登

奥能登イベント情報

能登町から2市1町の広報紙に「合鹿庵あえのこと」を紹介しました。



○食祭「珠洲まるかじり」

〈日時〉2月24日(日) 10:00～14:00
飯田町商店街には、恒例のカニ鍋のほか、能登大納言小豆の小豆がゆ、黒米ラーメンなどのグルメも！能登杜氏コーナーもあり、食べてよし、飲んでよしの4時間です。



○『かき食談』

〈日時〉3月7日(木) 18:00～
〈場所〉かき浜(穴水町麦ヶ浦)
〈参加費〉4,000円
かきのフルコースを食べながら、「かき談議」に花を咲かせませんか。
☎観光交流推進室 ☎0768-52-3790



○ぞんべら祭り

〈日時〉2月6日(水) 9:00ごろ～
〈場所〉鬼屋神社(門前町鬼屋)
拝殿の一角を水田に見立て、種まき・牛飼い・田植えなどを演じる「なり祝い」という芸能を奉納し、今年の豊作を祈ります。
☎地域振興課 ☎0768-42-8720

今日のオススメ!



■何者 朝井リョウ
影を宿しながら光を探る就活大学生の切実な歩み。あなたの心をあぶり出す書下ろし長編小説。

■夫は犬だと思えばいい。

高濱正伸
子育てに悩み続けるママを救うために。家庭で居場所がなくなったパパの誇りを取り戻すために。超人気塾のカリスマ先生が教える最強の子育てバイブル!



■新刊案内

噂の女 奥田英朗
64(ロクヨン) 横山秀夫
海賊とよばれた男(上・下) 百田尚樹
路(ルウ) 吉田修一
日本の七十二候を楽しむ 白井明大
夫婦の散歩道 津村節子 ほか

■行事予定

・読書会 2月20日(水) 13:30～
・おはなし会 2月20日(水) 15:30～
〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

中央図書館(宇津公民館内)
☎62-3458

図書館へおいでよ

児童館だより

こどもみらいセンター ☎62-1503 ★:対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日、12月28日～1月4日

- 1日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
- 1日(金) 16:00 児童館節分の集い(小学生・大人)
- 8日(金) 10:30 ★子育て教室
- 22日(金) 10:30 ★身体計測
- 27日(水) 15:30 キンボールあそび(小学生・大人)

まつなみキッズセンター ☎72-0269

- ◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日
- 2日(土) 11:00 読み聞かせボランティアひまわり
「おはなし会とランチ!～長いのり巻き作りに挑戦!～」※材料費100円
目標20m!どなたでも参加できます。
- 8日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)
- 13日(水) 15:00 節分ミニお茶会
- 16日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり
- 20日(水) 15:00 あっぶるたいむ「アリスの会によるお楽しみ会♪」
- 22日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)

30cmから40cmの円形のボードに、一定の距離から手投げの矢を投げ、得られた得点により優劣を競う射的競技です。ポイントと呼ばれる矢尻に金属を用いたハードダーツと、プラスチックなどの比較的やわらかい素材を使うことで安全性を高めたソフトダーツがあり、ハードダーツでは2m37cm(厳密には236.855cm)、ソフトダーツでは2m44cm(同243.84cm)離れたところから投げます。

ボードの狙った場所にダーツを命

※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告で掲載しています。

能登町民卓球大会 参加者募集

〈日時〉2月17日(日)9:00～
〈会場〉内浦体育館
〈対象〉町内在住・在勤・通学者で小学生以上
〈種目〉男女別個人戦(小学生・一般)ダブルス戦(小学生親子ダブルス)
〈参加料〉小学生・親子ダブルス:無料
中学生以上:300円
〈申し込み〉能都・柳田・内浦各体育館にある参加申込書で申し込み
〈申込期限〉2月10日(日)17:00まで
小学生親子ダブルスは、当日申込可
☎町卓球協会事務局(役場:小畑) ☎76-8304

がんばりました(結果)

- 鵜川中学校
第36回石川県中学選抜インドアソフテニス大会(1/12・13)
〈男子団体〉③
〈女子団体〉②(北信越大会出場)
- 松波中学校
第30回全能登中学校交歓バスケットボール田鶴浜大会(1/12・13)
〈女子の部〉②

ニュースポーツ紹介⑧

New sports 『ダーツ』

中させる技能性だけでなく、ゲームルールによっては高度な戦略性も要求され、精神的な要因に結果が大きく左右される、デリケートな一面があるニュースポーツです。

ゲームの進め方は、自分のスローごとに得点を加算していき、8ラウンドの合計得点を競う最も単純なゲームや、自分の持ち点を得点分だけ減らしていき、最も早く0点としたプレイヤーが勝利するというものなど、さまざまなルールがあります。



※出前講座でもニュースポーツの紹介があります。スポーツ推進委員が楽しく丁寧に指導します。

☎教育委員会事務局 ☎72-2509

第1回 連携研究「自然と文化」能登研究会

能登の里山里海をささえるもの

参加無料
定員60人

〈日時〉2月10日(日) 13:00～17:00

〈場所〉奥能登総合事務所 4階41会議室(能登空港)

【第1部】研究者による報告

- ・基調報告 「能登の歴史・民俗・伝説をめぐって」
小松和彦(国際日本文化研究センター所長)
- ・報告
「方言から見た能登の魅力」新田哲夫(金沢大学人間社会研究域教授)
「能登の土地を守り、未来に活かす」安井真奈美(天理大学文学部教授)

【第2部】「聞き書き能登」中間報告

地元高校生が里山里海の達人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」した活動を報告します。

【第3部】総合討論

- 話題提供:「能登の里山里海」における能登町の取り組み
—文化遺産の保存・活用を中心として—
新出直典(能登町教育委員会学芸員)
- コメント:中村浩二(金沢大学環日本海域環境研究センター教授)

〈主催〉大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
〈共催〉能登町教育委員会、金沢大学
〈後援〉世界農業遺産活用実行委員会
〈問い合わせ〉連携研究「自然と文化」事務局
(総合地球環境学研究所内) ☎075-707-2272

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ33】たら汁

能登のたらは味もよく、たら汁はもちろんのこと刺身・鍋もの・白子の酢の物など、「捨てる場所がない」と言われるほどまるごと食べつくすことができる。

〈材料〉4人分
 たら（あらなど） 500g
 水 3カップ
 昆布 5cm 2枚
 みそ 40g
 ねぎ 1/2本

○作り方

- ①たらの身・あら・頭などを食べやすい大きさに切り、ザルに並べて熱湯をまわしかける。水でよく洗う。
- ②鍋に水と昆布を入れ、沸騰したら昆布を取り出し、①を入れる。煮立ってきたらアクをとり除き、みそを溶き入れ味を調える。
- ③器に盛り、小口切りしたねぎをのせる。



【能登町食生活改善推進協議会】

～来入喜人里創り創成プロジェクト～

お弁当レシピコンテスト 「のどまい弁」最終審査&事業報告会



1月に応募いただいた「のどまい弁レシピコンテスト」の最終審査会と本プロジェクトの報告会を開催します。

コンテストは、会場に来られた皆さんと審査員による投票で最優秀まい弁が決定されます。

また、能登町と石川県立看護大学との連携事業の報告と久保孝先生の講演も開催されます。

参加自由です。たくさんのご来場お待ちしております。

〈日時〉3月3日(日) 12:30～16:00

〈場所〉能都庁舎4階大ホール

・講演「里海からの贈り物—能登の発酵食品と乳酸菌—」
久田孝氏(東京海洋大学海洋科学部食品生産学准教授)

・のどまい弁レシピコンテスト最終審査

・来入喜人事業報告(食事調査&健康調査結果報告、能登町音頭エクササイズの効用)

・招待展示(能登高校地域創造クラブ、石川県立大学いしるサークル ほか)

※本プロジェクトは能登町と石川県立看護大学との連携事業です。



能登北部医師会 休日当番医(2月)

【受付 9:00～12:00】

都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

3日(日)	10日(日)	11日(月)	17日(日)	24日(日)
あいずみクリニック 珠洲市飯田町 ☎ 82-0002	直井医院 能登町宇出津 ☎ 62-0180	持木メディカルクリニック 能登町宇出津 ☎ 62-1210	大貫眼科医院 珠洲市上戸町 ☎ 82-0017	千間内科クリニック 能登町宇出津 ☎ 62-1001
伊藤医院(喜) 輪島市門前町 ☎ 0768-42-0262	伊藤医院(英) 輪島市水守町 ☎ 0768-22-2313	大和医院 輪島市門前町 ☎ 0768-43-1323	桶本眼科医院 輪島市釜屋谷町 ☎ 0768-22-4056	北川内科クリニック 穴水町大町 ☎ 0768-52-3555

◆乳児健診・BCG接種

〈日時〉2月7日(休) 〈受付〉12:45～13:00

〈対象〉平成24年9月7日～11月7日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票、BCG 予診票、バスタオル1枚

◆1歳6カ月児健診

〈日時〉2月28日(休) 〈受付〉13:00～13:15

〈対象〉平成23年6月14日～8月28日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票

◆3歳児健診

〈日時〉3月7日(休) 〈受付〉13:00～13:15

〈対象〉平成21年11月16日～12月31日生

〈場所〉能都庁舎 4階大集会場

〈持ち物〉母子手帳、健診おたずね票、採尿容器

◆離乳食教室～ステップ編～

2回食から3回食(おおよそ8カ月～11カ月ごろ)までの教室です。参加費は無料です。身体計測もあります。ぜひ参加してください。

参加を希望する人は、申し込みが必要です。下記まで連絡してください。

〈日時〉2月12日(火) 〈受付〉10:00～10:20

〈場所〉こどもみらいセンター

〈持ち物〉母子手帳、大人用エプロン、子ども用エプロンとスプーン、おむつなど

〈担当〉保健師・栄養士

〈連絡先〉健康福祉課 ☎ 72-2504

■竹越 快 Dr. (内科) を紹介します

1月1日から内科に勤務している竹越快と申します。富山県高岡市出身で、12月までは金沢市で勤務していました。能登に来るのは今回が初めてです。

町民の皆様の健康にお役に立てるよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。



■内科医師変更のお知らせ

	月	火	水	木	金
午前	初診 竹越	竹越	三崎	廣正	津山
午後	再診	廣正 三崎 津山	廣正	三崎 竹越 津山	廣正 三崎

公立宇出津総合病院 だより

☎ 62-1311

<http://www.hospitalnet.jp/>

診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■MRI(磁気共鳴断層撮影装置)を更新

旧装置と比べ、ガントリーと呼ばれる円筒状の穴が大きく、長さも短くなっているため、圧迫感が少なく、閉所恐怖症の人でも安心して検査を受けることができるようになりました。



性能向上により撮影時間も短縮され、作動音も静かになっています。

更新期間中はご迷惑をおかけしましたが、この新しい装置を地域の皆様の健康管理・治療に役立てていきたいと考えております。

■4月から病院の敷地内が全面禁煙となります

4月1日から、建物内だけではなく駐車場も含めた病院敷地全体を禁煙とします。

喫煙が健康に及ぼす影響は大きく、肺がんや脳卒中、心筋梗塞などさまざまな病気を引き起こす重大な要素と指摘されています。

たばこを吸わない家族や周辺の人にも、喫煙者と同じように健康に悪影響を及ぼします。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■子ども予防接種期間中、受付時間を延長

3月1日から7日は、子ども予防接種期間です。この週間は予防接種に対する関心を高め、予防接種率を向上させることを目的としています。期間中は、通常診療の時間に予防接種を受けることができない人に配慮し、下記のとおり受付時間を延長します。(完全予約制)

接種日	受付時間	予約締切日
3月2日(土)	10:00～12:00	2月26日(火)
3月3日(日)	10:00～12:00	2月27日(水)
3月5日(火)	17:00～19:00	3月1日(金)
3月6日(水)	17:00～19:00	3月1日(金)

※締切日までには必ずご予約ください。

(予約先:小児科外来 ☎ 62-1311)

■糖尿病・内分泌外来診察日の案内

糖尿病のコントロール・治療が必要と判断された人、高脂血症などの人を対象に専門医が精密検査や治療を行います。内科外来までお越しください。

診察:太田医師 2月の診察日:4日(月)、25日(月)

くらしの掲示板

狩猟免許試験・講習日程について

〈申込期間〉2月8日(金)まで
 〈申込先〉県奥能登農林総合事務所
 企画調整室
 〈講習会日時場所〉2月17日(日)8:40～
 県地場産業振興センター本館
 〈試験日時場所〉2月22日(金)9:30～
 石川県庁11階1105室
 〇役場農林水産課 ☎ 76-8302

一人一人の就職活動をサポート

ジョブカフェ石川出張相談 in 能登町
 就職支援のプロフェッショナル
 「ジョブサポーター」が就職に関する
 個別相談をはじめ、応募書類の書き方、
 面接対策など一人一人に合ったサービスや
 情報を提供。職業適性診断も行います。
 相談は無料です。
 〈日時〉2月21日(木)14:00～17:00
 3月14日(木)9:30～12:30
 〈場所〉能都庁舎1階福祉相談室
 〈問い合わせ、予約先〉
 ジョブカフェ石川能登サテライト
 ☎ 0767-53-7070

青年国際交流事業の参加者募集

内閣府では、平成25年度に実施する青年国際交流事業
 (「東南アジア青年の船」「国際青年育成交流」「日本・中国
 青年親善交流」「日本・韓国青年親善交流」)の参加青年を募集
 しています。
 〇内閣府青年国際交流担当
 ☎ 03-3581-1181
<http://www.cao.go.jp/koryu/>
 石川県国際交流課
 ☎ 076-225-1382

石川県最低賃金改正のお知らせ

県内の最低賃金が改正されました。最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

〇地域別最低賃金 (県内全ての労働者に適用されます)

石川県最低賃金	時間額 693円	改正発効日 H24.10.6
---------	-------------	-------------------

〇特定(産業別)最低賃金

主要な適用業種	時間額	改正発効日
繊維工業	721円	H24.12.31
機械器具製造業	820円	
自動車製造業	820円	
電気機械器具製造業	763円	
百貨店、総合スーパー	775円	

詳しくは、石川労働局 (☎ 076-265-4425) または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。石川労働局のホームページもご覧ください。

いしかわ自然学校ヤドカリ学級

食べられる海藻を見分けよう!

昔から能登では四季折々に約30種類もの海藻を利用してきました。ホンダワラ類の仲間のアカモクなど、長く伸びた海藻を磯の観察路で観察し、食べられる海藻の見分け方を解説します。試食もあります。
 〈日時〉2月23日(土)10:00～12:00
 〈対象〉制限はありませんが、小学生低学年以下は保護者同伴。
 〈定員〉20人 〈参加費〉無料(高校生以上は入館料200円が必要)

〈問い合わせ・申し込み〉

のと海洋ふれあいセンター
 ☎ 74-1919

自動車の検査・登録はお早めに

3月半ばを過ぎると、自動車の検査・登録手続きがピークに達し、1日3,000件以上(平常の3倍以上)となる場合があります。継続検査(車検)は有効期間の満了する日の1カ月前から受検できる制度を利用し、2月中旬までに受検されますよう、また名義変更や廃車の手続きなどは3月上旬までに済ませますようご理解とご協力をお願いします。

〇北陸信越運輸局石川運輸支局

☎ 050-5540-2045 (登録)
 ☎ 076-291-7852 (検査)

石川県看護協会のナースバンク

保健師、助産師、看護師、准看護師のための、無料職業紹介所です。求職登録、求人施設の情報、仕事探し、進学相談、キャリアアップ、職場での悩みなど、看護職スタッフがサポートします。

〈連絡先〉 ☎ 076-225-7771

〈相談日〉月～金曜日(祝日除く)

〈受付時間〉

9:00～12:00、13:00～16:00

※インターネットでも登録ができます。
<http://www.nurse-center.net/>
 〇石川県看護協会 ☎ 076-225-7771

県内一斉司法書士無料法律相談

遺言・相続登記の無料相談会です。
 〈日時〉2月3日(日)13:00～16:00
 〈場所〉ショッピングセンター「ファ

ィイ」(輪島市)、ショッピングプラザ「シーサイド」(珠洲市)
 ※当日は電話相談も受け付けます。
 〈臨時・相談専用〉 ☎ 076-291-0099
 〇石川県司法書士会
 ☎ 076-291-7070

能登法律相談センターの相談日

〈2月〉7日、14日、21日、28日(木)
 〈時間〉13:45～16:15
 〈場所〉穴水町保健センター
 ※前日17:00までに金沢弁護士会へ電話予約ください。(先着5組)
 〈相談料〉30分以内:5,000円
 ※負担が困難な人で、法律援助資力基準に該当すれば1回のみ無料。クレサラ相談は初回無料。

〇金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎
 2月8日(金)10:00～12:00

能登空港 2月のイベント

★2月3日(日)
 ・お茶会「花とお茶でのおもてなし」
 〈時間〉10:00～16:00
 〈場所〉1階能登の旅情報センター
 〈協力〉淡交会七尾・能登青年部
 ・おらが故郷お国自慢
 輪島キリコ太鼓保存会
 〈時間〉14:00～ 〈場所〉2階ロビー
 〈協力〉輪島市
 ★2月10日(日)
 ・のっぴーグラスづくり
 デザイン「のっぴーの豆まき」

■鶴川公民館
 2月19日(火)10:00～12:00
 ■笹ゆり荘
 2月12日(火)、26日(火)10:00～12:00
 ■内浦福祉センター
 2月12日(火)13:30～15:30
 ■小木活性化センター
 2月20日(水)13:30～15:30
 〇社会福祉協議会 ☎ 72-2322

行政相談委員にご相談ください

暮らしの中のさまざまな困りごとを、総務省から委嘱を受けた行政相談委員が無料で相談に応じます。お気軽にご相談ください。

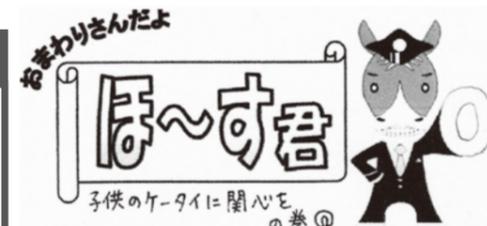
〈相談時間〉10:00～12:00

会場	日程	相談委員
鶴川公民館	2月19日(火)	吉岡相談委員 ☎ 67-2221
笹ゆり荘	2月19日(火)	廣橋相談委員 ☎ 76-0088

〇役場総務課 ☎ 62-8510

〈時間〉10:00～12:00
 13:00～15:00
 〈場所〉1階能登の旅情報センター
 〈参加費〉無料
 〈対象者〉一家族1個程度、子供連れの場合は子供の数、小学生以下優先【限定50個】

★2月17日(日)
 ・おらが故郷お国自慢
 穴水児童館ダンスクラブ
 長谷部太鼓～龍組～
 〈時間〉14:00～ 〈場所〉2階ロビー
 〈協力〉穴水町



〇珠洲警察署 ☎ 82-0110
 能登庁舎 ☎ 62-1334

有料広告

来春ホームセンタームサシFC能登店 OPEN 予定

業務拡大 社員募集!!



【選考の流れ】

1. 応募される方は、ハローワークから「紹介状」の交付を受けて下さい。
2. 上記紹介状と共に、履歴書・職務経歴書を下記までご郵送下さい。
3. 当社から、筆記試験と第1次面接の予定日をご本人へ連絡致します。
 ※面接等は、9月中旬以降の予定です。

【書類送付・連絡先】

〒927-1214
 珠洲市飯田町7部83番地
 株式会社山口勇商店 総務部
 ☎ (0768) 82-2111

有料広告

職員募集 (長寿園・第二長寿園・第三長寿園)

〈職 種〉看護師または准看護師 (1名)
 〈応募書類〉履歴書、ハローワーク紹介状、免許証の写し

一応募先・お問い合わせ一
 社会福祉法人長寿会 ☎ 927-1221 珠洲市宝立町春日野4-117
 ☎ 0768-84-2252 FAX 0768-84-2052

平成25年4月
 特別養護老人ホーム
 第三長寿園
 新築オープン
 (特養個室20・ショートステイ個室20)
 珠洲市宝立町鶴飼(旧珠洲実業高校グラウンド横)

平成 25 年 消防団出初式

能登町消防団出初式は1月6日、能都体育館で行われ、団員300人が防災への思いを新たにしました。式典後は、宇出津港いやさか広場でポンプ車16台による一斉放水が行われました。(表彰者は右記のとおり)



- 消防庁長官表彰
退職消防団員報償
山本健一(元山田分団・部長)
山岸浩嘉(元柳田分団・班長)
- 石川県知事表彰
功労章
新出鉄夫(町消防団・副団長)
永山信彦(宇出津第1・分団長)
坂下静男(小間生・分団長)
- 消防吏員の部
北井一彦(消防司令補)
竹中克彦(消防司令補)
谷内健治(消防司令補)
千葉和彦(消防司令補)
- 永年勤続功労章
梶 哲朗(白丸・部長)
山口浩行(岩井戸・団員)
辻浦芳一(柳田・団員)
坂口政幸(松波・団員)
森川勝義(岩井戸・団員)
- 消防吏員の部
宮下 忠(消防士長)
- 退職消防団員報償
舟元俊朗(元白丸・班長)
- 能登町長表彰
永年勤続功労章
竹口太郎(鶴川・班長)
大豊 太(松波・班長)
山岸貴志(山田・班長)
西 元昭(宇出津第2・班長)
佐藤嘉久(高倉・団員)
平田大輔(高倉・団員)
今井和人(高倉・団員)
上谷浩之(鶴川・団員)
向峠浩史(岩井戸・団員)
影田伸幸(岩井戸・団員)
團子石和雄(松波・団員)
山本満三(山田・団員)
- 優良団員表彰
菅原利夫(小木・団員)
- 松浦善吉(鶴川・団員)
橋本克治(鶴川・団員)
高出隼人(鶴川・団員)
安宅 操(宇出津第1・団員)
紙子輝芳(宇出津第1・団員)
竹原正生(宇出津第1・団員)
田高直樹(白丸・団員)
磯部勇氣(白丸・団員)
小坂陽一(神野・団員)
澤田和哉(柳田・団員)
上野仁寛(宇出津第2・団員)
干場智央(高倉・団員)
徳田啓一(岩井戸・団員)
- 配偶者感謝状
大路敏恵(柳田・大路雅美分団長の妻)
壁下初子(秋吉・壁下三代治副分団長の妻)
- 消防団員雇用事業所感謝状
興信工業㈱
代表取締役 室谷信子
- 退職団員感謝状
横川正次(元岩井戸・団員)
- 消防団長表彰
精勤章
後田勇平(小木・団員)
町端 晃(宇出津第1・団員)
時長大和(宇出津第2・団員)
道下佑太朗(鶴川・団員)
- ◎新入団員(9人)
黒田 繁(小間生)
大黒大二郎(三波)
高宮大介(三波)
石脇大暉(高倉)
中村祐貴(高倉)
稲葉義康(鶴川)
坂 威武希(柳田)
干物弘治(宇出津第2)
谷口翔太(小木)

こ	せ	き
の	ま	ど
12/15	~	1/14

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

うぶいえ

出生児 両親の名前 住所

坂井拓海 翔太・華恵 天坂
仁張凌久都 裕介・幸恵 宇出津
中宮優希奈 篤志・奈央 駒渡
道下龍生 佑太郎・理恵 七見
向峠妃菜多 増観・康子 当目
木下真歩人 雄太・千恵 上町
石淵結衣 和人・博美 宇出津
緩目光莉 祐矢・美春 松波

高砂や

市川雅通 東京都 本籍 住所
濱口貴代枝 新保 姫
福島優一 金沢市
釣谷梨恵 小木 金沢市

おくやみ

氏名 年齢 住所

泊 正二郎 珠洲市
布久保正子 山中
宮下喜仁 千葉県
向 由紀子 小松市
梅木大嗣 笹川
鍛治あゆみ 珠洲市
青木晃彦 鶴川
角 奈美 宇出津新港
砂山尚徳 金沢市
山本侑花 宇出津
辻 正亮 輪島市
田保真澄 宇加塚 輪島市

寺谷嘉枝 90歳 鶴川
南 隆生 71歳 小松
松本愛子 83歳 恋路
倉 律子 80歳 崎山
出口すゝ江 85歳 宇出津
大高定治 86歳 小松
道中ヒサノ 94歳 崎山
木地スズノ 97歳 宇出津
高 あや乃 96歳 柿生
新谷照子 90歳 武連
齋藤千代子 54歳 波並
石平あや子 88歳 小木
崎山義男 88歳 小木

寄付御礼

氏名 年齢 住所

中野敏夫 58歳 当目
山下スミ子 65歳 矢波
西田八平 81歳 羽根
南代三枝子 85歳 宇出津
浦野かつ子 70歳 瑞穂
猪平幸太郎 94歳 上町
井本正一 86歳 白丸
坂井貞子 78歳 松波
宮前美代江 77歳 布浦
稲葉市子 90歳 宇出津
木村清一 85歳 上町
夏畑正一 78歳 鶴町
府中みよ 91歳 宇出津
小谷長太郎 88歳 合鹿
猪子 強 71歳 波並
安谷春男 65歳 松波
寺上一雄 89歳 七見

松本良雄さん(恋路) 10万円
木地 司さん(宇出津) 10万円
崎山由樹夫さん(小木) 15万円
猪平義幸さん(上町) 5万円
新谷長英さん(武連) 10万円

■ふるさと納税寄附者
以上、能登町社会福祉協議会へ

石田 晃さん(千葉県)
中野利美さん(内灘町)

●人口・世帯数 平成25年1月4日現在(前月比)

人口(人)	20,250	- 24
男	9,578	- 12
女	10,672	- 12
世帯数(戸)	8,090	- 9

有料広告

無担保 教育ローン

キャンペーン実施中! 実施期間 2012年10月1日~2013年4月30日

特別金利(変動金利) 年 1.90%

※別途、保証料年0.5%が必要です。

●ご融資額 最高1,000万円 ●ご返済期間 最長15年
●ご返済方法 毎月返済又は毎月返済・ボーナス返済の併用

北陸ろうきん 珠洲支店 0768-82-6111

有料広告

女性のための特別な新メニュー

レディース シェービング
LADY'S SHAVING
女性の心と素肌に上質の癒しと潤いを。

※シェービング受付10:00~15:00 完全予約制です
hair SAI 穴水町此の木 0768-52-1510

【透肌シェービング】20分 ¥2,500 お顔剃り+アロマスチーム
アロマスチームで毛穴の汚れを浮かき上げるので、カミソリでうぶ毛と共に汚れを取り除きますので、より透明感あるお肌になります。

【絹肌シェービング】35分 ¥3,500 透肌シェービング+炭酸ジェルパック
透肌シェービング後に炭酸ジェルパックすることで、毛穴の奥の汚れを取り除き、肌の奥まで栄養分が行き渡りやすくなります。ワントーン明るい美白効果が期待できます。

【活肌シェービングスバ】60分 ¥5,000 絹肌シェービング+フェイシャルスパ+EMGポレーション
絹肌シェービング後にEMGポレーションによって美容成分である細胞成長因子を肌の奥にしっかり送り届けます。ポレーションとは針を使わずに美容成分を肌の奥深くに運ぶ美容方法です。シミ、シワの改善、肌の弾力感、リフトアップ効果、小顔効果を実感いただけます。一切痛みはなく、美容先進国ヨーロッパ、ビューティークリニックでは針のないメソセラピーとして人気です。あまりの心地よさに心の底から至福の時間を過ごしていただけるメニューです。

有料広告

入院に強い保障
入院保障2型

月掛金 2,000円 で 入院日額 10,000円 (18歳~60歳の保障額)

お問い合わせと資料のご請求は
0120-63-5011 石川県民共済 検索

石川県民共済 生活協同組合 〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

有料広告

つらい、ヒザ、肩、腰の痛みに
塗るグルコサミン

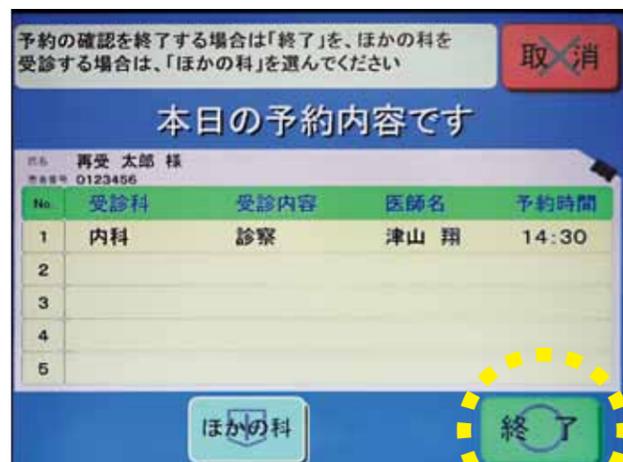
85g 3,980円

くすりの中谷 宇出津新町ポスト前
TEL.62-0057

②受診したい診療科を選ぶ

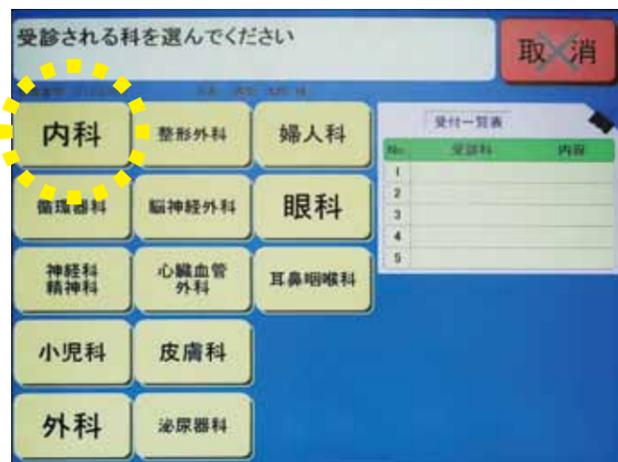
診察券を投入すると、自動的に画面が切り替わります。予約のある人は、予約した診療科が表示されます。予約のない人は、その日受診できる科が表示されますので、画面をタッチして選んでください。複数の科の受け付けも可能です。(画面は、内科を受診する場合の表示例です)

<予約あり>

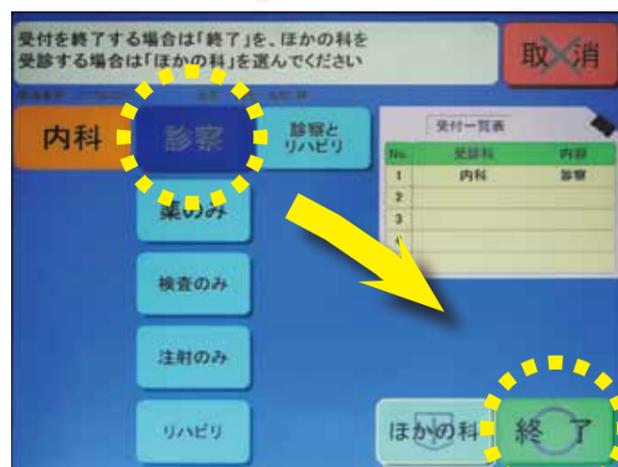


予約のある人は、予約の内容を確認して「終了」の表示に触れてください。これで受付完了です。「ほかの科」にタッチすると、予約した以外の他の診療科の受け付けもできます。

<予約なし>



受診したい科を選びます



診察・検査など、受けたい項目を選んで、「終了」をタッチ

③受付完了

操作が完了すると、診察券と受付票が出てきます。忘れずに受け取って、受診したい科の受付窓口にお渡しください。



受付票は、診察科の窓口へ



宇出津総合病院の受付が変わります

2月18日からは、受付機をご利用ください。



宇出津総合病院では、電子カルテの導入に伴い、外来の受付方法を変更します。従来は、総合受付や各科の受付で診察券を「診察券入れ」に投入していましたが、2月18日(月)の診療からは、ロビーに設置してある2台の「再来受付機」(左写真)で、診療を申し込むことができます。画面の指示に従うだけの簡単な手順です。急患や宇出津総合病院を初めて受診する人は、これまでどおり総合受付の職員が受け付けます。操作方法などでお困りの点がありましたら、お近くの職員に気軽に声をかけてください。

〒公立宇出津総合病院 ☎ 62-1311

操作手順

①受付機に診察券を入れる

再来受付機は2台設置されています。どちらも操作方法や機能は同じですので、空いている方を利用してください。ご利用には、診察券の切り替えが必要です。これまでの青い診察券はご利用いただけませんので、総合受付で新しい診察券に交換してください。



新しい診察券はピンク色。のとキリシマツツジが目印です。



②に続く

受付機は、午前8時からご利用いただけます。それまでに来院した人には、整理券をお渡します。また、宇出津総合病院を初めて受診する人は、総合受付で申込書をご記入ください。職員が診察券を作成し、操作をご案内します。

総看護師長にお伺いします。

受付機導入で何が変わるのでしょうか？

現在、投薬や検査結果、治療の履歴などは、紙の診療録(カルテ)に記入して管理しています。電子カルテを導入することにより、カルテを探して準備する時間が省け、患者さんと接する時間をより多く取ることができ、きめ細かな医療や看護を提供できるようになります。レントゲンなどの画像もフィルムからデータになり、他の医療機関との連携もスムーズに行えるようになります。

しかし、初めのうちは電子カルテに慣れるまで操作に時間がかかり、混雑が予想されます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。受付機の操作などでわからないことがありましたら、私たちがお手伝いしますので、お気軽に声をかけてください。



公立宇出津総合病院
きのしたみようこ
木下妙子 総看護師長



能都中学校 1組卒業生



【写真左】明るい選挙の推進を宣言した川崎大樹さん（能都中学校卒業）
 【写真左下】「交通事故の加害者にも被害者にもなりません」と交通安全宣言をした向口瑞希さん（柳田中学校卒業）
 【写真下】「家族や社会に対し、微力ながらも貢献していきたい」と誓いの言葉を宣誓した殿田ゆかりさん（松波中学校卒業）



平成25年能登町成人式は、1月13日に内浦第二体育館で行われました。今年成人を迎えたのは、平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた男性107人、女性113人の計220人で、式典には186人が出席。持木町長や恩師からの祝福を受け、新成人としての第一歩を踏み出しました。

成人式



能都中学校 2組卒業生



鵜川中学校卒業生



松波中学校卒業生



柳田中学校卒業生



町内在住者



小木中学校卒業生